

然別火山群

然別湖は、ほとんど火山に囲まれています。然別湖の北側と西側に位置する北ペトウトル山 (1,400 メートル) と南ペトウトル山 (1,348 メートル)は、中でも最古のものです。これらの火山は、約 30 万年前から、20 万年以上の時間をかけて形成されました。然別湖南側の東西に延びる火山群は、より最近の約 6 万年前から 1 万年前に形成されたものです。持続的な火山活動により、然別火山群が形成され、然別エリアの景色は変わっていききました。

成層火山と溶岩ドーム

然別火山群は、成層火山と溶岩ドームでできています。成層火山は円すい型になることが多く、斜面は比較的急です。主に爆発的な溶岩噴火によって噴出された硬化溶岩、灰、岩が何層にも重なってできています。北ペトウトル山 (1,400 メートル) と南ペトウトル山 (1,348 メートル) は、成層火山です。

然別湖南側のより若い火山は、溶岩ドームです。これらのドームは、粘性が高くあまり遠くまでは流れることのできない溶岩の、比較的小さい球状の塊で形成されています。厚い溶岩が火口周辺に積み重なって、ドームは徐々に大きくなります。溶岩ドームは、通常、流出性噴火を通して、一定の速度で地面へと溶岩を噴出します。しかし、ドーム内のガス圧が高まると、爆発的な噴火が起こることもあります。

然別火山群展望台からは、くっきりと見える西ヌプカウシヌプリ (1,251 m) と東ヌプカウシヌプリ

(1,252 m) の火山群を一望することができます。

溶岩ドームの崩壊

成長中の溶岩ドームの側面は切り立っていて不安定で、崩壊することがあります。溶岩ドームの崩壊は、地震やガス圧の蓄積、あるいは新たな成長といった他の要因をきっかけに生じることがあります。溶岩ドームが崩壊すると、火砕流や岩屑なだれが生じることがあり、溶岩ドームから数キロ離れたところまで達することもあります。時間の経過とともに、崩壊した溶岩ドームの部分的残骸から新たな溶岩ドームが形成されます。然別火山群の溶岩ドームではこの工程が繰り返し行われ、過去の崩壊による岩屑により、平原北部には多くの小規模な丘陵地帯が形成されました。東瓜幕丘陵ジオサイトにある展望台からは、火山群を背景に起伏のある景色を堪能することができます。

溶岩ドームと然別（しかりべつ）湖

然別の溶岩ドームは、地形に大きな影響を与えてきました。溶岩ドームの形成により、川がせき止められ、然別湖が誕生しました。然別湖の面積は 3.4 平方キロメートルで、その湖岸は 13.8 キロにわたって伸びています。しかし、然別湖の本来の姿はもっと大きく、より北西に広がっていたものと思われます。南ペトウトル（1,348 m）の山頂では、然別湖、南方には溶岩ドーム、そして遠くには十勝平野の景色を楽しむことができます。